

◇平成30年度 福岡市学習定着度に関する調査結果について(中学1,2年生)

本調査は、中学1,2年生対象に国語、数学の2教科で実施されました(実施日:平成30年11月29日)。

福岡市の平均と比べ、1年生は国語で「同程度である」数学で「同程度である」という結果でした。2年生も、国語で「同程度である」数学で「同程度である」という結果でした。大問別に詳しく見ると次のようなことが言えます。

〈1年生〉

国語 同程度である :「話すこと・聞くこと・読むこと(説明的文章)」「読むこと(随筆)」
「書くこと」

数学 同程度である :「正の数・負の数」「文字を用いた式」「方程式」「比例式」「変化と対応」
努力を要する :「各領域の小問題」

〈2年生〉

国語 やや上回っている:「話すこと・聞くこと」

同程度である :「読むこと(説明的文章)」「読むこと(随筆)」
「書くこと」

数学 同程度である :「各領域の小問題」「連立方程式」「資料の活用」「一次関数」「図形の調べ方」
「文字式の利用」
努力を要する :「空間図形」

学校としての今後の取組

○一つ一つの授業を大切に頑張るよう引き続き指導していきます。授業においては、「学び合い」活動を取り入れた授業づくりを推進しています。子どもたちに求められる資質・能力を育む「主体的、対話的で深い学び」の実現を図っていきます。

○毎日提出されるスマイルノートの内容の充実に努めていきます。自学の内容が自分の課題克服のためになっているか、一人一人確認しながら行うよう指導していきます。

○定期考査前等、各学年の実態に応じた補充学習(自主学習を含む)を推進していきます。



ご家庭へのお願い

学力の向上は、基本的な生活習慣を確立させ、家庭学習の定着を図っていくことが大切です。本校では、「スマイルノート」を活用して自学の習慣化・充実化を図っています。子どもさんが、スマイルノートでどのような学習を行っているか、ときどき見ていただいたり、話し合っていたりして、充実した自学が行われるよう引き続きご協力下さい。